

myTrade 投資管理サービス『マイトレード』の正式版スマホアプリを提供開始 2017年11月20日

◆ **分析機能**

取引履歴や損益額の推移など、過去～現在の投資傾向を多面的に分析します。

分析メニュー

分析レポート

取引情報を分析した各種分析レポートです。毎週金曜日に更新します。
※今後も分析項目を追加いたします。ご意見募集集中。
最終更新日 2017年11月17日(金)

各種分析

損益額とリスクの推移 おすすめ

累計損益額、期間ごとの損益額、最大ドローダウン、変動リスク等

3ヶ月 1年 全期間

保有期間の分析

保有期間×取引回数、保有期間×1日あたりの損益額等

3ヶ月 1年 全期間

取引結果の傾向

プロフィットファクター、勝率、ペイオフレシオ等

3ヶ月 1年 全期間

ポートフォリオの概況

日本株のポートフォリオ、銘柄間の相関、各種指標との相関等

3ヶ月 1年

注意事項

- 以下の取引及びそれに関連した取引は分析対象に含まれません。
 - 入庫出庫などEntryの履歴が取得できない取引
 - データの最大取得件数(詳しくはQ&Aを参照)を超過した取引

【損益額とリスクの推移】
マイトレードにEntry-Exitの取引履歴があるものについて、日々の損益額計算を行い、その推移についての分析です(入出金の影響を受けません)。

◆ **損益額の推移**

オレンジの線は確定損益、緑色の線は含み損益を加味していません。下記の場合、順調に利益を積み上げていますが、オレンジより緑色の方が長い期間があるため、含み損を抱える傾向にあることが見えます。



◆ **最大ドローダウン**

直前の最高利益額からの下落状況および推移がわかります。



◆ **損益額の変動リスク**

損益額の前日比から変動リスク(資産変動のばらつき)を計算しています。変動リスクが大きいほど、ハイリスクハイリターン傾向が強くなります。



◆ **損益額の変動リスク(ばらつき)**

損益額の前日比です。標準偏差 2σ(約95%)の範囲や、右側のヒストグラムで変動幅の傾向が見えます。

今後ユーザーの声を伺いながら、さまざまな分析機能を拡充してまいります。

 投資管理サービス『マイトレード』の正式版スマホアプリを提供開始 2017年11月20日

◆ プラン比較表

日々の自動集計など、基本的な機能は無料のFreeプラン（期間・件数・機能制限あり）でご利用いただけます。サービス利用開始時はFreeプランで使い勝手をご確認いただき、『マイトレード』を気に入って頂いた方向けに有料のBasicプランをご用意しております。今後もさまざまな機能、プランを検討してまいります。詳しくは、下記プラン比較表をご参照ください。

Freeプラン 無料	Basicプラン 500円 /月(税込)	Proプラン Coming Soon…
日々の自動集計※1	日々の自動集計	日々の自動集計
口座登録：3個まで	口座登録：10個まで	口座登録：検討中
取引履歴管理： 1年以内の 直近200件まで※2	取引履歴管理： 取得済み 全件※2	取引履歴管理： 検討中
資産推移： 直近1年間※3	資産推移： 制限無し※3	資産推移： 検討中
分析レポート： 基本項目、 3ヶ月、週末更新	分析レポート： すべての項目※4、 全期間、週末更新	分析レポート： すべて、全期間、 毎日更新(検討中)
	イベント優先案内	イベント優先案内
	その他：検討中	その他：検討中

※1 基本的な機能はFreeプラン含めて今後も追加いたします

※2 口座登録前の取引履歴は、証券会社毎の過去取得可能期間(最長2年間)の直近200件までになります

※3 口座登録前の資産推移は、取引履歴より逆算しているため※2の最も古い取引履歴日以降になります

※4 現在の分析は基本項目だけになります。今後はさまざまな分析機能を追加いたします

myTrade 投資管理サービス『マイトレード』の正式版スマホアプリを提供開始 2017年11月20日

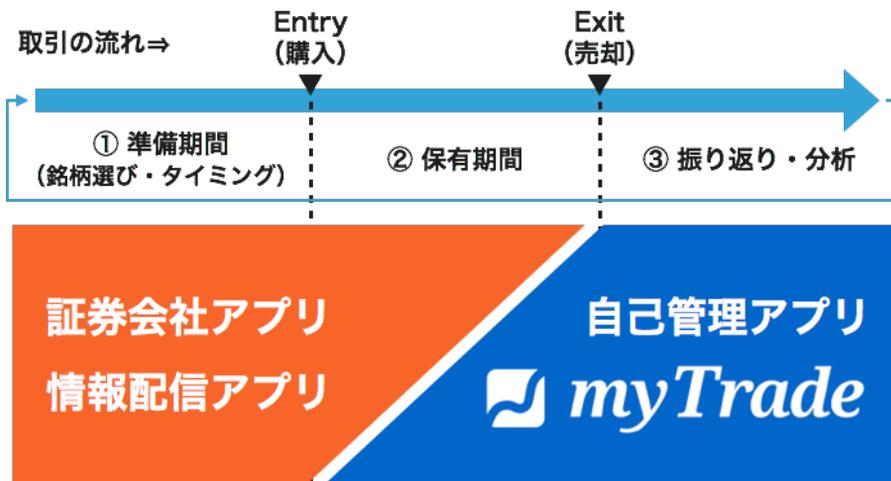
◆ 資産運用関連FinTechにおける位置づけ

『マイトレード』は、証券業や運用業ではなく、投資管理ツール（ITサービス）です。個人投資家の代わりに資産運用を行ったり、株式や投信の売買や仲介を行うサービスではありません。投資助言や、「自分で投資」を積極的に薦めるものではありません。多くの個人投資家は「自分で投資」と「任せる投資」を組み合わせることで資産運用を行うものだと考えております。資産の一部でも自己判断でトレードされる方は、ぜひ『マイトレード』をご活用ください。

投資スタイル	サービス	業態	料金
自分で投資 ↑↓ 任せる投資	投資管理ツール myTrade	ITサービス業	基本無料・ 有料プラン
	少額投資スマホ証券 テーマ投資証券	証券業	売買手数料等
	投資信託、 ファンドラップ、 ロボアドバイザー	金融商品 運用業	信託手数料、 投資助言料等

◆ 取引における『マイトレード』の役割

『マイトレード』は金融商品の売買やニュースの購読ではなく、Entry後の保有期間の利益確定/損切等の管理や、Exit後の振り返り・各種分析にフォーカスした自己管理サービスです。好調の時はもちろん、不調の時にも、自分自身の傾向を振り返ることが必要だと考えております。



 投資管理サービス『マイトレード』の正式版スマホアプリを提供開始 2017年11月20日

◆ 家計簿アプリとの比較

『マイトレード』は同じアカウントアグリゲーションサービスである家計簿アプリとは、対象ユーザーや目的、取扱情報が異なります。個人投資家に特化した機能を提供しています。

	家計簿アプリ	
ユーザー・目的	消費者の 収支管理	個人投資家の 投資管理
主な取扱情報	保有資産（商品、残高）	
	銀行、クレジットカード等の 支出履歴、収入履歴	証券会社の株式等(※)の 取引履歴、注文履歴
主な機能	<ul style="list-style-type: none"> ・複数口座からの情報取得（アカウントアグリゲーション） ・資産推移、資産配分等のグラフ表示 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・自動で分類された 収支履歴のリスト表示 ・節約支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・独自計算による Entry-Exitの紐付け ※現物信用の建玉管理の違い、 株式分割併合対応など ・株価チャート上での履歴表示 ・銘柄毎の損益集計 ・損益推移やリスク(ばらつき)、 ドローダウン等の各種分析

※現在は東証、福証、札証上場の株式・ETFを対象としています。今後、FXや仮想通貨など、さまざまな金融商品への追加対応を検討しています。

◆ 国内株式の個人投資家の規模

東証、名証、福証、札証から個人株主数（述べ人数）は約5,000万人という調査結果(※1)が出ています。一般的に1人あたりの平均保有銘柄数は3～5銘柄(※2)と言われているため、国内株式の個人投資家は実質1,300万人程度だと考えております。今回のリリースから3年の間に、そのうちの約100万人の方にご活用いただくことを目指しています。

※1 2016年度株式分布状況調査の調査結果について（2017年6月20日）

<http://www.jpx.co.jp/markets/statistics-equities/examination/01.html>

※2『マイトレード』先行無料ベータ利用者については、積極的な取引傾向にあるため、平均保有銘柄数は約2倍の数となっています。

◆ セキュリティへの取り組み

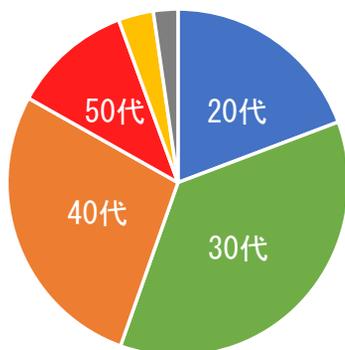
安心してご利用頂くために、サーバー環境とオフィス環境それぞれに閉じられた高セキュリティエリアを構築し、利用者の皆様の大切な個人情報を徹底管理しています。監視カメラや電子ロックなど、マイトレード専用の環境を用意し運用しております。

 投資管理サービス『マイトレード』の正式版スマホアプリを提供開始 2017年11月20日

◆ 先行無料ベータ利用者の統計データ

・証券口座登録利用者：3,500人以上

【ユーザー年齢層】

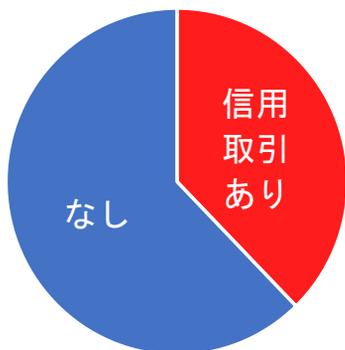


2017年11月14日現在

年代	割合	ウィークリーアクティブ率
■ 20代	19.48%	57.76%
■ 30代	36.00%	62.97%
■ 40代	27.44%	60.77%
■ 50代	11.39%	59.72%
■ 60代以上	3.86%	51.05%
■ その他・不明	1.83%	48.53%

個人投資家のメイン層であるミドル・シニア層の割合（40代以上）が40%以上を占め、ウィークリーアクティブ率（1週間以内のログイン/証券口座登録ユーザー）も高い傾向にあります。尚、平均資産額は年代が上がるほど大きい傾向にあります。

【信用取引の有無】



2017年11月14日現在

信用取引の有無	割合	1000万円以上
■ あり	37.80%	51.95%
■ なし	62.20%	48.05%

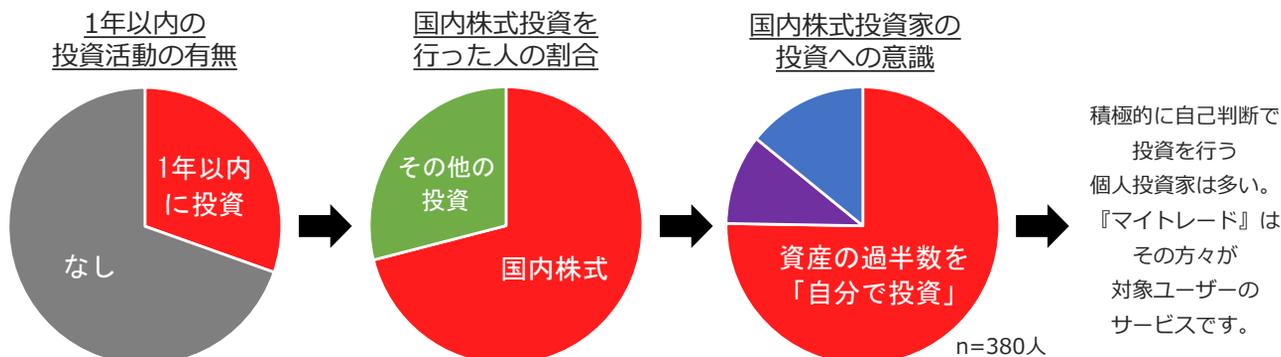
信用取引利用者が約38%と一般的な調査値（5～25%。別ページの株式会社マーシュ調査では21%）と比べて高く、熱心なトレーダーにご利用頂いていると考えられます。尚、運用資産1,000万円以上の個人投資家に限ると、過半数が信用取引を利用しています。『マイトレード』は信用取引にも対応しています。

myTrade 投資管理サービス『マイトレード』の正式版スマホアプリを提供開始 2017年11月20日

◆「自分で投資」を実践するユーザーについての統計データ

下記内容にてインターネットアンケートを実施しました。

- ・実施会社：株式会社マーシュ
- ・計測期間：2017年8月23日（水）～2017年8月24日（木）
- ・事前調査対象：2,239人／本調査対象：380人



積極的に自己判断で投資を行う個人投資家は多い。『マイトレード』はその方々が対象ユーザーのサービスです。

1年以内の投資活動の有無

1年以内に投資	割合
■ あり	30.37%
■ なし	69.63%

国内株式投資を行った人の割合

国内株式投資	割合
■ あり	71.03%
■ なし	28.97%

国内株式投資家の投資への意識

国内株式投資家の投資への意識	割合	合計
■ 自分で投資：資産の100%	52.11%	75.26%
■ 自分で投資：資産の51～99%	23.16%	
■ 自分：任せる = 50%：50%	10.53%	10.53%
■ 任せる投資：資産の51～99%	10.26%	14.21%
■ 任せる投資：資産の100%	3.95%	

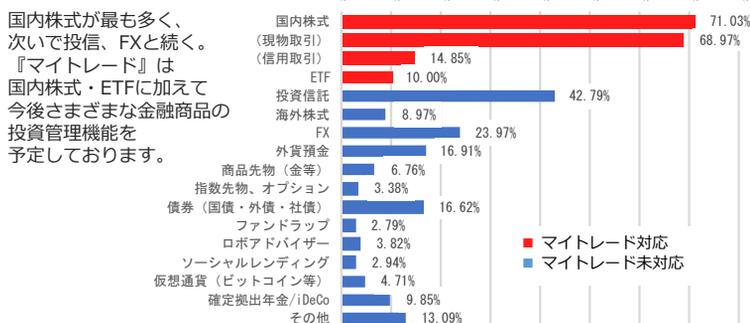
- ・1年以内に投資（金融商品の新規購入、追加購入、売却のいずれか）を行った人は全体の約30%。
- ・そのうち、国内株式投資を行った方は71%と大部分を占める。
- ・さらに本調査として「投資への意識」を質問したところ有効回答380人のうち約75%の方が資産の過半数を「自分で投資」で運用していると回答した。

以上のことから、投資では国内株式投資が最も活用され、さらにはその大多数が自己判断での「自分で投資」の意識を持つことから、投資管理サービス『マイトレード』の潜在ユーザーは多いと考えられる。

※自分で投資：自分の判断で売買銘柄やタイミングを決めて行う投資。主に株式・FXなど。

※任せる投資：運用を金融機関に任せる投資。投資信託など。

投資商品の割合 n=680人



国内株式投資家の投資歴 n=380人

国内株式投資を行っている約7割の方が投資歴5年以上でした。投資管理サービスを開発する上では、初級者だけでなく中～上級者への対応が必要であると考えられます。

